

6 お話の 聞こえる 文を 書いて

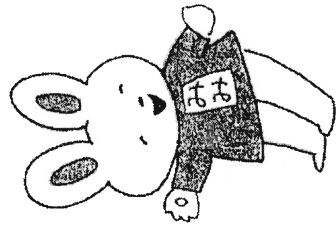
年 ^{ねん} 組 ^{ぐみ} 名 ^な 前 ^{まえ}

「 」をつかいて お話 した ころ に、文を 書いておきな。

うっしょに
あそぼう。

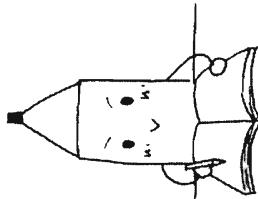


なにをしてあそぼうか。



○文を 書く ときは、のちのちの かわりに「 」(かぎ)を
つかう。

○のちのちの めみちゃんか うつた にあそぼう「 」を つかいて
書いておきな。



○ た ま が 、

○ み み が 、

「 い つ し よ に

な

○ あ そ ぼ う 。

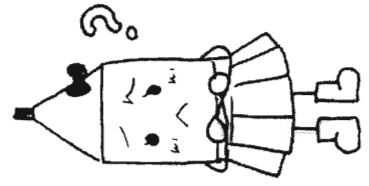
○

と 、 い い ま し

と 、

た 。

つきのよつな クラクシートを
つかって、れんじゆうして みました。
ふまだしに 書いたじつを、そのまま
「 」を つかって 文じょうに
書いてみましよう。



お話の 聞ける
文を 書くには
どうしたら いい
の？

- ① 一ばん 知らせたい 場面を えらび 絵に かいて みる。
その 絵を見て、そのとき じんな 話を したり 聞いたり したかを
よく 思い出して みる。
- ③ 話を した じつを その まま 文じょうに あらわす。

あつ、とりだ。
おねえちゃん、
見てよ。あんな
とり、いままで
見たことない
ね。

ほんとだ。
かわいいね。

ぼ	く	は	、	お	ね	え	ち	や	ん	に	
「	あ	つ	、							」	
や	、										
り	、										
い	」										
と	、	い	い	ま	し	た	。	お	ね	え	ち
や	ん	は	、								
「	ほ									」	
と	、	い	い	ま	し	た	。				

みなさんち 一ばん 知らせたい 場面を えらび、その とき
お話しした じつを、思い出して、書いてみましよう。

